

ごみ減量化の促進

仙田 定議員

問 生ごみ処理容器「ペランダ de キエロ」を全戸配布する考えは。

答 使えば使うほどに費用対効果上がる試算結果からも、ごみ減量化には有効な手段である。一気に全戸配布することは、アフターケアなどの課題もあるが、その実現に向けて進めていきたい。

猫のトラブルを避けるために

伊藤美枝子議員

問 野良猫の苦情はどの地域でも起こりうる問題。飼い猫も含め近隣トラブルを避けるために、猫の飼い方ガイドラインの作成が必要では。

答 地域の方々との関わり方を含め、本市の適正飼養ガイドラインを策定する。

野良猫の不妊手術などに一部助成を

伊藤美枝子議員

問 猫は1年間に十数匹の子猫を産む。これまでもボランティアで100匹以上の野良猫の不妊・去勢手術を行っている人がいる。上限を定め手術費用の一部助成を。

答 長年ボランティアをされている方の話を伺った。前向きに検討したい。

思いやりあるまちへ

福祉

実効性ある地域福祉活動計画に

鈴木啓太郎議員

問 市社会福祉協議会の地域福祉活動計画ができた。市の地域福祉計画と連携していただけるのか。

答 市社会福祉協議会の計画は、理念・方向性・課題を市の計画と共有しており、連携して推進していく。また、新規重点施策の一つとして福祉の総合相談窓口の設置実現に向け、課題の洗い出しや解決策の検討などに取り組む。

障がい者就労支援策の取り組みは

鈴木啓太郎議員

問 障がい者就労支援策の一つに優先調達法が成立した。市の取り組みは。

答 発注可能な品物やサービスを市の関係部署に周知し、調達方針を定め、障がい者関係団体に販売促進の研究を促すなど、お互いの努力により法の趣旨を具体化する。

高齢者が元気なまちへ

小林憲人議員

問 介護支援に関わるボランティアを行った高齢者に対し、活動に応じてポイントを付与して実質的な介護保険料の

市独自の引きこもり対策を

田村法子議員

問 引きこもりの人数は。

答 把握していない。引きこもりは、いわば、福祉政策のはざまにある問題。年齢も30代

子ども子育て新システムの課題

伊藤初美議員

問 地域型保育事業に対しては、自治体独自の基準を設定することになる。本市としての考え方は。

答 今年度、保育ニーズ調査を行い、市独自の施策は「子ども・子育て支

人を育てる

教育

森の図書館で読書

堀口修一議員

問 大井図書館に隣接する

る林が「市民憩の森」として整備された。図書館との一体的な活用と整備で、特色のある「森の

市民本位の公民館などのあり方

新井光男議員

問 教育機関として役割の大きい公民館及び分館のあり方は。

答 公民館及び分館のあり方について、市公共施設適正配置計画では、コミュニティ施設への移行や複合化の検討が求められている。平成25年度からの計画に基づき、

美術品展示会場の充実と確保

岸川彌生議員

問 文化芸術活動の重要な活動の一つに、美術品の展示がある。展示会場のさらなる充実と確保を。

答 8月に開設予定の大井総合支所及び平成27年度完成予定の市役所本庁舎増築棟に、新たな展示場所としてギャラリーの設置を予定している。また、スポットライトも設置する。

新上福岡給食センター調理は直営で

足立志津子議員

問 市の要求水準書に基

心肺蘇生法の教育

仙田 定議員

問 AED練習用機材を使った教育を。

答 中学校では心肺蘇生法や、AEDに関する授業を行っているが、今後は練習用機材を取り入れた体験的な教育手法を進めていきたい。

授業の週6日制の復活

田村法子議員

問 土曜日の子どもの過ごし方に心配の声を聞くと同時に、土曜日授業を望む保護者もいる。現場教師の意見を十分に聞きながら検討をすることが大切。復活について市の見解は。

答 子どもたちの教育にとって何が大切かを見極め、今年度は校長会と連携し検討していく。

「攻め」の子育て支援策を

塚越洋一議員

問 待機児童ゼロ、病後児保育、ベビーシッター制度など、「攻め」の子育て支援策で、子育て世代から選ばれる市に。

答 保育所定員の拡大や、新たな建設計画を視野に入れて検討。病児・病後児保育施設開設の可能性も検討する。居宅訪問型保育、小規模保育等も検討したい。

動物虐待は犯罪

堀口修一議員

問 動物を虐待する人がいる一方で、何とか救いたいと願う方がおり、その思いに少しでも応えていくべき。「動物虐待は犯罪」という啓発を。

答 毎年9月20日から1週間を「動物愛護週間」と定めており、県では同時期の10日間を「愛護動物の遺棄等虐待防止週間」とし、動物の虐待防止を呼びかけている。市としても虐待防止について、周知・啓発を図っていく。



市民憩の森に隣接する大井図書館